



「足柄茶」の産地として知られる山北町。5月が一番茶の茶摘みの季節です。山あいでは霧が出やすいため、強い日差しを防ぎ、香りの良いお茶を育むと云われます。もともと、足柄茶の栽培は関東大震災の復興策として始まり、普及していきましました。きれいに刈りそろえられた茶畑はとも美しく、特に霧が立ちこめる朝の光景は幻想的です。摘み取り作業は春から秋にかけて行われます。

山あいの気候が育む足柄茶

旅の見どころ 3



ハイキングコースとして人気がある標高723メートルの大野山。晴れた日には、丹沢湖や富士山などの眺望を楽しめます。山頂付近に広がるのは、神奈川県が運営する大野山乳牛育成牧場。酪農家から預かった約100頭の牛が放牧されるのんびりと牧草を食べる様子を見ることができます。春の「ならし放牧」は日中に行いますが、夏は夕方涼しくなってきたら外に出す「夜間放牧」に切り替えます。ことしの放牧は8月いっぱいまで予定です。

富士や丹沢湖を望む牧場

旅の見どころ 2

神奈川県西部、丹沢山系に位置する山北町。町の面積の9割以上が山林です。昭和の初めまで箱根の山々をう回する路線がとおり「鉄道のまち」として栄えました。5月、木々が一齐に芽吹き、町は新緑の輝きに包まれます。茶畑を守り、茶摘みの頃を待ちわびる元鉄道員。山あいの集落と駅を結ぶバスの運転手もしています。丹沢湖を望む牧場では、地元出身の獣医師が、酪農家から預かった幼い牛を放牧します。緑の輝きに包まれた山里の暮らしを訪ねます。



趣ある木造平屋建てが特徴のJR御殿場線・山北駅。迎えてくれるのは駅員ではなく、黄色いジャンパーを着た方々です。無人駅だった山北駅に活気を取り戻したいと、地元の鉄道員OBなどが交代で駅を守ってきました。山北には昭和の初めまで東海道線がとおり、山越えの拠点として栄えた歴史があります。駅の南側にある鉄道公園には、かつて活躍したD52型蒸気機関車が展示され、「鉄道のまち」の面影を伝えています。



旅の見どころ 1

“鉄道のまち”の誇り 今も

memo

アクセス方法
 <電車>
 新宿から
 小田急小田原線「新松田駅」→JR御殿場線「松田駅」
 東京から
 東海線「国府津駅」→JR御殿場線「山北駅」下車
 静岡方面から
 JR東海道線「沼津駅」→JR御殿場線「山北駅」下車
 ※山北駅ではSuicaなど交通系ICカードは使えません
 <車>
 東名高速道路
 東京方面から
 大井松田IC→国道246号線
 静岡方面から
 御殿場IC→国道246号線



小さな旅

～こころのふるさとをみつめて～

コブック vol. 144

薫風に里弾む
 ～神奈川県 山北町～

2014年5月25日(日) 放送

小さな旅 ホームページ
<http://nhk.jp/kotabi>